

## (仮称) 広島中央地域連携中枢都市圏の形成に向けた取組について

### 1 趣旨

人口減少・少子高齢化が今後更に進行し、住民が安心して快適に暮らしていくための生活基盤や行政機能の低下が懸念される中、中核市に移行した呉市が近隣市町と連携して経済成長のけん引、高次の都市機能の集積・強化及び生活関連機能サービスの向上を行うことにより、人口減少・少子高齢社会においても一定の人口規模を有し活力ある社会経済を維持していくための拠点となる(仮称)広島中央地域連携中枢都市圏の形成に向けた検討を進めてきました。

この度、連携中枢都市圏の形成に向けた本格的な協議を開始するため、「(仮称)広島中央地域連携中枢都市圏協議会(以下「協議会」といいます。)」を設立します。

### 2 協議会の構成市町

協議会は、呉市、竹原市、東広島市、江田島市、海田町、熊野町、坂町及び大崎上島町(4市4町)の首長で構成します。

図 協議会を構成する市町の位置、人口及び面積



市町名	人口 (H22国勢調査)	面積 (H26国土地理院)
呉市	239,973人	352.80K <sup>m</sup> <sup>2</sup>
竹原市	28,644人	118.23K <sup>m</sup> <sup>2</sup>
東広島市	190,135人	635.16K <sup>m</sup> <sup>2</sup>
江田島市	27,031人	100.74K <sup>m</sup> <sup>2</sup>
海田町	28,475人	13.79K <sup>m</sup> <sup>2</sup>
熊野町	24,533人	33.76K <sup>m</sup> <sup>2</sup>
坂町	13,262人	15.69K <sup>m</sup> <sup>2</sup>
大崎上島町	8,448人	43.11K <sup>m</sup> <sup>2</sup>
合計	560,501人	1,313.28K <sup>m</sup> <sup>2</sup>

### 3 協議内容

本協議会では、国が定める連携中枢都市圏構想推進要綱により連携中枢都市圏ビジョン(以下「ビジョン」といいます。)に記載することと定められている次の事項について協議していきます。

- ア 連携中枢都市圏の名称
- イ 連携中枢都市圏の中長期的な将来像
- ウ 連携中枢都市圏形成に係る連携協約等に基づき推進する具体的取組
- エ 具体的取組の期間
- オ 成果指標

#### 4 今後検討していく具体的取組

ビジョンに掲げる具体的取組については、三つの役割ごとに次の施策を検討していきます。

##### (1) 圏域全体の経済成長のけん引

- ア 産学金官民一体となった経済成長推進体制の整備
- イ 地域の中堅企業等を核とした産業の育成
- ウ 戦略的な観光施策
- エ 地域資源の販路開拓

##### (2) 高次都市機能の集積・強化

- ア 高度な医療サービスの提供
- イ 広域交通ネットワークの構築

##### (3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

- ア 健康づくりの推進とスポーツの振興
- イ 高齢者自立支援の推進等
- ウ 広域的な災害対応の促進
- エ 地域公共交通の維持
- オ 農水産品の活用による地域振興
- カ 圏域内住民の交流の促進
- キ 移住・定住の促進
- ク 結婚・子育て支援の推進
- ケ 公共施設の相互利用
- コ 医療福祉人材の育成・確保
- サ 圏域市町の交流・人材育成等

#### 5 今後のスケジュール（案）

##### (1) 平成28年度

- 協議会の設立（12月下旬又は1月予定）
- 連携施策の具体化に向けた協議（市町協議）
- 有識者による懇話会の設置，意見聴取

##### (2) 平成29年度

- 連携中枢都市宣言 9月頃
- 連携協約の締結 10月頃
- ビジョンの策定 12月頃

##### (3) 平成30年度

- 連携事業の実施